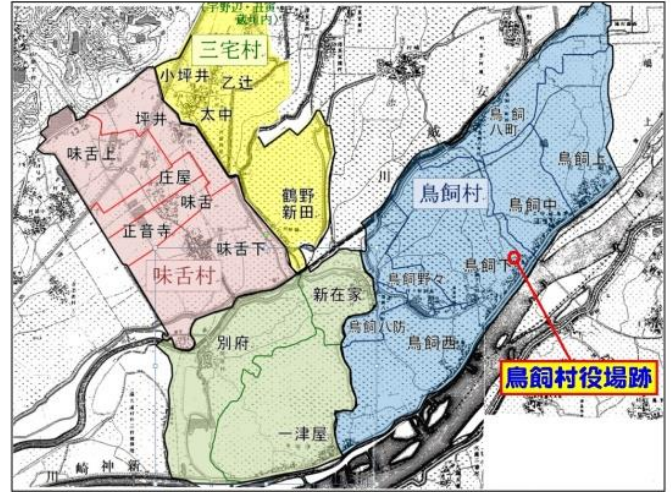


昭和の大合併で姿を消した公共施設

鳥飼村役場跡

1. 名称 とりかいむらやくば
鳥飼村役場
2. 所在地 摂津市鳥飼下1丁目7-4
市立鳥飼小学校横隣り
3. 所在期間 1889年（明治22年）～
1956年（昭和31年）
現存建物は1936年（昭和11年）築



4. 現在 鳥飼公民館（昭和42年5月～）・
摂津市教育研究所（平成元年4月～）を経て
現在は「さわやか広場とりかい」

5. 沿革 鳥飼地域は、太古は海だったが、淀川などが運んできた土砂の堆積で
湿地帯となる。古代には近都牧（きんとまき公家などに牛馬を供給するための都
に近い牧場）のひとつである鳥飼牧（とりかいまき鳥養牧とも表記）が置かれてい
ました。室町時代には鳥飼猿楽（とりかいざるがく能楽に似たもの）で知られた。

1889年（明治22年）4月1日 - 町村制の施行により、島下郡
とりかいはちちょうむら 鳥飼八町村・かみのむら 鳥飼上之村・なかのむら 鳥飼中之村・しものむら 鳥飼下之村・にしのむら 鳥飼西之村・
はちぼうむら 鳥飼八坊村・ののむら 鳥飼野々村の区域をもって発足。

初代村長 浜口甚太郎 氏

1896年（明治29年）4月1日 所属郡がみしまぐん三島郡に変更。

1956年（昭和31年）9月30日 - ましたちよう三島郡味舌町・あじふむら味生村と合併して
三島町が発足。同日鳥飼村廃止。

合併当時の鳥飼村の面積7.03km² 人口4,688人（国勢調査、1955年）

6. 代表的な歴史遺産

とりかいまきあと 鳥養牧跡・りきゅうとりかいいんあと 離宮「鳥養院」跡・さんぼんまつじんじゃあと 三本松神社跡・くろまるじょうのあと 黒丸城の址・とりかいのわたしあと 鳥養の渡し跡



歴史指標設置セレモニー（2016年7月27日）



さわやか広場鳥飼（旧鳥飼役場）



鳥飼村役場及び鳥飼小学校落成記念 (昭和11年)

鳥飼公民館(昭和42年5月～)・摂津市教育研究所(平成元年4月～)を経て現在は「さわやか広場とりかい」



鳥養牧跡 摂津市鳥飼下3丁目26 石碑

鳥養牧は六牧あった近都牧の一つで諸国から運ばれた牛馬を飼育し、必要に応じて都にひいてこさせるために設けた牧である。



離宮「鳥養院」跡 摂津市鳥飼上5丁目7 石碑

「大和物語」には、亭子院(宇多天皇の号)がここをしばしば訪れたことが書かれており、この石碑の建っている付近に離宮があったと思われます。



三本松天神社跡 摂津市鳥飼西1丁目14-57 顕彰札

延喜元年(901年)正月、九州の大宰府に左遷された菅原道真が赴任の途中、鳥飼の地に船を着け食事の後自ら楊枝松を植え、この木が生育することを願って地元の人たちで神社が建立されました。



黒丸城の址 摂津市鳥飼中2丁目1 石碑

本城(砦)は淀川べりに築かれた平城であって、大坂方面攻撃の際の前線基地の一つとしての機能を濃厚にもった城郭であったと思われる。



鳥養の渡し跡 摂津市鳥飼下3丁目29 顕彰札

この渡しは、大正時代の中頃にそれぞれ別々に運航していた「治歩多渡し」と「願正寺渡し」が合併してできたので地域の人達によく利用され、親しまれた。明治以降は民間運営され、昭和8年に大阪府の管理運営となった。そして、昭和29年の鳥飼大橋の完成及び淀川改修工事により昭和50年10月30日休航し、淀川最後の渡しとなった。